

Ⅲ. 情報化社会の構築

事業名：⑫佐賀デジタルコンテンツ推進事業

事業責任者：芸術地域デザイン学部 中村 隆敏

【事業のあらまし】

佐賀県内で学生と市民が共に映像を中心にしたデジタルコンテンツを制作することで、地域振興、観光づくり、映像人材育成を図ることを目的とする。県内の専門教育機関、県内各地の商工部門や自治会が連携してセミナーや人材交流、制作体制、上映会をバックアップし、佐賀の若者映像文化拠点づくりを目指す。

また、本事業は若者のメディア芸術等、文化活動支援としての側面も持っており、今年度より開設した芸術地域デザイン学部やデジタル表現プログラム参加学生を中心に、コンテンツ制作に関わる発信を上映会、展覧会、イベントを佐賀大学美術館やクリエイティブラーニングセンター及び県内各地で行うことにより、制作したコンテンツが文化活動として地域活性に繋がることを学ばせる。

【平成28年度の取組み】

1. 学生による病院 CM 制作（8 月～9 月）

場所：なゆたの森病院、サガテレビ、総合研究 1 号館等

夏休みを使ってテレビ制作会社、代理店と共同による病院 CM 作成。映像広告のセミナーで勉強し、クライアントのヒアリングとリサーチを重ね、シナリオを複数考えた。選ばれたシナリオを映像化する際も、プロの方から撮影、照明、MA 作業のアドバイスを頂き、9 月からサガテレビで放映されている。



完成した CM



撮影風景

2. 第 5 回佐賀大学コンテンツデザインコンテスト開催（11 月 8 日（火）～19 日（土）） 「アニメーションの現在、過去、未来」

場所：佐賀大学美術館、総合研究 1 号館等

国内外のアニメ制作に影響を与えた佐賀出身の人形アニメ作家「持永只仁」の顕彰展と現在の学生アニメーション表現を俯瞰する ICAF2016 上映会を行なった。

ゲストアーティストの講演会や立体アニメーションワークショップも開催した。

<http://net.pd.saga-u.ac.jp/scdc/> (公式サイト)

<https://www.facebook.com/condeconsaga/> (Facebook 交流サイト)



ポスター



展示風景

3. 地域賢人アニメーション制作支援、音声収録（新・江藤新平伝）

昨年度より学生有志や社会人により佐賀七賢人の一人江藤新平のアニメーション第一部パートが完成したが、第二部の音声のみ収録を行った。

公式サイト <http://etoshinpei.ryubin.net>

4. 海外向けショートフィルム制作支援、リージョナルフィルム上映会（1月29日）

近年、地域発映画や地域PVの重要性が増している。佐賀大学では、海外留学生向けに本学及び佐賀地域を紹介するショートフィルム「Secret Agents Go Abroad」を学生が制作し、完成記念上映を計画し、国内で活躍中の若手映画監督や映像クリエイターの地域を舞台にした作品や地域そのものをテーマに掲げる作品も同時に上映した。



ポスター



留学生向けフィルム